

【施設状況】

グループ名称	市民農園(小森、青池、松代東条、安庭)										
指定管理者名	一般社団法人長野市農業公社							法人番号	5100005002332		
所管課	主	160500	農業政策課		副						
構成施設	1891	小森市民農園									
	1894	青池市民農園									
	1892	松代東条市民農園									
	1890	安庭市民農園									
施設分類	03	施設貸出2型			施設利用者圏域	02	広域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制	
施設概要	小森市民農園 27区画 3,473㎡ 休憩棟 木造/平屋/31㎡ 青池市民農園 34区画 7,158㎡ 休憩棟 木造/平屋/35㎡ 松代東条市民農園 30区画 3,831㎡ 休憩棟 木造/平屋/37㎡ 安庭市民農園 47区画 6,724㎡ 休憩棟 木造/平屋/36㎡ 合計138区画										
施設設置目的	市民が野菜作りを楽しむ憩いの場や余暇利用の場を提供し、食への関心を高め農業への理解を深めてもらう。										
基本方針等	都市との交流の機会をつくり、市民の農業に対する理解を深める。										
主な実施事業	市民に対し、野菜づくりの場を提供すること										

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名		一般社団法人長野市農業公社			当該指定管理者の 指定回数		4回	
指定期間		令和3年4月1日		～	令和8年3月31日	5年	当該指定管理者の 管理運営開始日	平成20年4月1日
指定 管理 者の 健 全 性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。							評価 3
	特記事項 (問題等があった場合に、 その内容等を記入)							

2 施設の有効活用

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)		利用区分等	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	対前年比	評価
		小森市民農園	区画	26	27	27	27	100%	
		青池市民農園	区画	22	25	24	23	96%	
		松代東条市民農園	区画	30	30	28	30	107%	
		安庭市民農園	区画	11	11	12	18	150%	
(特記事項) R6利用率:小森 27/27 100%、青池 24/34 71%、松代東条 28/30 93%、安庭 12/47 26%(全体66%) R7利用率:小森 27/27 100%、青池 23/34 68%、松代東条 30/30 100%、安庭 18/47 38%(全体71%)									
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	・農園の利用の承諾に関する業務 ・農園の施設及び設備の維持管理に関する業務 ・農園の施設、付属設備及び物品の維持管理に関する業務 ・農園の効用を増加させる業務							
	自主事業	・野菜づくり手引書の販売			・安庭市民農園PR事業(利用率向上のため、市・公社職員、長野県立大生と協働で、市民農園での野菜づくり等に係る動画制作、SNSにて発信等を実施)				
サービス維持・向上の取組み (広報等)		・利用者募集及び空き区画情報を市農業公社ホームページへ掲載 ・市民農園の紹介や野菜づくりに関するPR動画を制作し、YouTubeやInstagramで発信した。さらに、市民農園の案内チラシや広報ながのにSNSへのリンク(QRコード)を掲載し、周知することにより、新規申込者を増やした。							

3

3 利用者評価

区分		内容		評価
利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	聞き取り		4
	(2) 調査、会議等の内容 ・事務局に相談窓口を設置し、対応している。 ・利用者で組織するオーナーズクラブ(青池・松代東条)に要望をとりまとめていただき、報告を受けている。 ・地元住民で組織する管理組合から聞き取りにより要望等を把握している。			
	(3) 調査、会議等の結果 ・要望を受けた際は、現地確認や追加の聞き取りを行い、的確な状況把握に努めた。			
利用者からの評価・苦情等	(1) 良好とする評価 ・「設備や貸出の農具が揃っており、楽しく、快適に野菜づくりができた」「自然の中で、手ぶらでゆっくり農業が楽しめる」等、利用者には高評価をいただいている。			
	(2) 苦情・改善等の要望事項 ・農具の破損等による補充要望			
	《対応措置》 ・指定管理者にて農具(鍬、鎌など)の補充を迅速に行った。			

4 事業収支

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和7年度)				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		令和7年度決算		令和6年度決算(前年度)		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
指定事業	利用料金	619,000	利用料金	728,384	歳入	使用料 雑(納付金) 行政財産目的外使用料		使用料 雑(納付金) 行政財産目的外使用料	
	指定管理料	1,457,000	指定管理料	1,457,000		貸付料		貸付料	
	委託料		委託料			その他		その他	
	販売収入等		販売収入等			利益配分		利益配分	
	その他収入		その他収入						
	収入計	2,076,000	収入計	2,185,384	計	0	計	0	
	人件費	1,110,000	人件費	1,338,000	歳出	指定管理料	1,457,000	指定管理料	1,457,000
	設備管理費	616,000	設備管理費	596,000		委託料	137,500	委託料	
	備品購入費	30,000	備品購入費	27,515		需用費		需用費	
	修繕費	100,000	修繕費	74,030		役務費		役務費	
	光熱水費	190,000	光熱水費	217,618		使用料・賃借料	775,859	使用料・賃借料	775,859
	事業費	0	事業費	0		修繕費		修繕費	165,000
	事務経費	30,000	事務経費	18,215		工事請負費	1,036,200	工事請負費	
	本社経費	0	本社経費			備品購入費		備品購入費	
	その他	0	その他			その他		その他	
	利益配分		利益配分						
	支出計	2,076,000	支出計	2,271,378		計	3,406,559	計	2,397,859
指定事業損益	0	指定事業損益	-85,994						
利益配分を除く 指定事業損益	0	利益配分を除く 指定事業損益	-85,994						
自主事業	収入	30,000	収入					59,400	
	支出	0	支出					30,003	
	自主事業損益	30,000	自主事業損益	29,397					
損益	30,000		-56,597	差引	-3,406,559		-2,397,859		
人件費比率【人件費(賃金等)／令和7年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)								58.9%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※ すべて ☒ で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分		確認内容	チェック欄	評価	
管理運営全般	職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	☒	4	
		配置実績 (うち市内雇用職員数)			市民農園担当者 正規職員1名(1)、嘱託職員5名(5)
		2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか			
		3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか			
		4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか			
	平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	☒		
		2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか			
	経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	☒		
		2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか			
	施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか	☒		
2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか					
セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	☒			
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか				

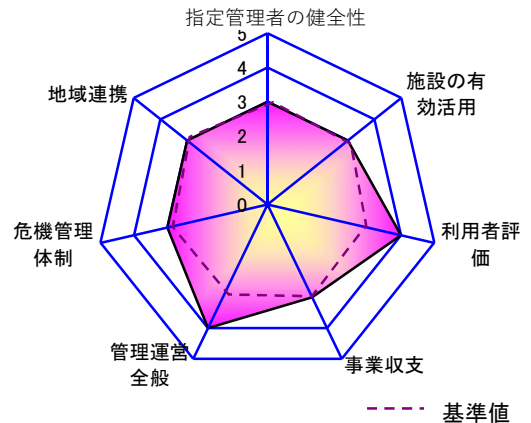
危機管理体制	区分	確認内容	チェック欄	評価
	安全対策	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☒	3
		2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか		
		3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
	個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☒	
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	☒	
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか	☒	
	緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☒	
		2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		

7 地域連携

地域連携	評価
地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。	3
協定内容・指定管理者提案	
追加された内容、未実施の内容及びその理由	
・地元組織である管理組合に管理を一部委託することにより、地元雇用や地域活性化の推進を図っている。 ・施設修繕、物品調達に当たっては、地元業者を優先的に活用している。	

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	合計得点
施設の有効活用	3	12	
利用者評価	4	8	66
事業収支	3	6	
管理運営全般	4	16	
危機管理体制	3	12	
地域連携	3	6	



評価理由	・利用者要望を的確に把握し、対応していることから「利用者評価」を「4」とした。 ・職員や管理組合による定期巡回を実施して施設・設備の点検を行い、利用者が安全、快適に使用できるよう維持管理に努めていることから「管理運営全般」を「4」とした。		
取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)
	・安庭、青池市民農園の利用率向上	利用案内チラシの作成、広報ながのや市政番組、ホームページにて利用者募集情報の周知を図ったほか、利用率の低い安庭市民農園の認知度を高めるため、長野県立大学と協働し、市民農園の紹介や農作業の様子について動画を制作、SNSにて発信を行った。	
次年度の目標・取組み等 (施設所管課)	・引き続き、積極的にSNSを活用することにより、幅広く利用者募集情報の周知を図り、利用率の向上に努める。		

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

- ・利用者からの苦情・要望に対し、迅速な対応に努め、利用者の満足度向上を図っている。
- ・地元の管理組合と綿密に連絡・連携を図りながら、緊急対応の迅速化、安全な施設運営に努めた。
- ・経年劣化による施設修繕等、安全対策として優先順位をつけ施設保守を実施している。

② 業務の効率化に対する取組み

- ・修繕要望に対して直営で対応できるものは直営で実施し、経費削減に努めた。

③ その他

安庭市民農園の利用が低迷していることから、「安庭農園PR事業」を今年度から始めた。
若年層、子育て世代など、農園とは縁のない年齢層にも農園の認知度を広めるため、「市民農園での野菜づくり」をテーマに動画制作・発信をした。

【主な内容】

- ・市農業政策課、広報広聴課の協力により、野菜作りの動画を制作、随時YouTubeにアップした。
- ・長野県立大生1年生3名の協力により、農園紹介や野菜づくりの動画を制作し、Instagramに随時アップした。

(今回の取組みは令和7年12月放送の長野放送「ふれ愛ながの」番組内でも紹介された。)

【効果】

- ・本事業実施後、令和8年3月の翌年度利用申込み時点において、安庭市民農園では新たに6件の申込みがあった。また、農園に関する問い合わせが多数あった。
- ・制作動画のQRコードをチラシに印刷し、広報ながのや市民菜園抽選会などで積極的に配布し、動画を見ていただくことで、市民農園の新規利用者を増やすことができた。

(2) 指定管理者業務実施上の課題

特になし

(3) 総合評価

評価基準

- 【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり
【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

B

① 評価理由

- ・農園利用者からの苦情・要望について迅速に対応し、利用者満足度の向上に努めた。

② 次年度以降の取組み

令和7年度の農園PR事業が大変好評であったことから、県立大生の協力を得ながら、令和8年度も同様に事業を実施し、新規利用者の獲得に努める。